

2009年12月7日

プロジェクト報告書

団体名 特定非営利活動法人 あゆみの家

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. プロジェクト名

第4回 あゆみの家 重度肢体不自由者(児)ホテル宿泊体験

2. プロジェクトの目的とその背景 300文字まで

あゆみの家を開所し、子ども達が生活訓練を重ね、少しずつであるが成果が見える。しかし将来親亡き後、他人の中での生活を少しずつ体得していかなければならない為に、外での宿泊訓練が必要とされる。

3. プロジェクトの内容 300文字まで

一泊宿泊訓練を、あゆみの家の親子、パートさん、ボランティアさんと、湯沢ニューオータニホテルにて行いました。昨年と同じ場所で2回目の宿泊です。同じ場所に宿泊ということは初めてのホテルとは違い、子供たちも少しは覚えていて、精神的にも落ち着いた状態でホテルにすんなり入れます。昨年と同様、入浴訓練、食事訓練、食事は子どもの状態に合わせ、普通食・一口大食・きざみ食・ミキサー食などホテルにお願いする。

4. プロジェクト実施にあたっての工夫点とその効果 300文字まで

2回目の宿泊場所、湯沢ニューオータニホテルですが、今回は関東営業所の方があゆみの家まで来てくださり事前の打合せが出来ました、お電話とは違い細やかなところまで要望を聞いていただきました。部屋も障害者・車椅子の使いやすい部屋を用意していただいたり、ホテル内の段差解消、昨年ハプニングがあった貸切風呂の予約もすんなりと。食事の内容(食事形態)など、ホテル側の配慮が見られました。チェックイン時間も早めていただき、心も体もゆったりした気分で、いつもの生活とあまり変わらず、混乱も無く過ごすことが出来ました。

5. 全体的所感、終了しての感想など 300文字まで

2回目の宿泊場所ではありますが、子ども達の精神面・体調などの心配はありました。家を出てから直接ホテルへ、そしてホテルでの昼食、早めのチェックインで体を休ませ、落ち着いたところで貸切風呂の温泉大浴場へ、一時間だけの貸切という短時間ではありましたが、初めてのボランティアさん・いつものパートさん・お母さんたちで男の子たちの入浴をスムーズに。男性のボランティアさんが来て下さったおかげで色々な湯舟にも入れ体をいっぱい伸ばし気持ちよさそうに入浴していました。満足満足の子供たちでした。入浴介助、車イス介助と力を貸してもらい本当に助かりました。夕食・朝食の食事形態も思う通りに調理していただきました。二日目は、生まれて初めてのリンゴ狩り、予約を入れてありましたので、子供たちだけの場所を用意していただき、自分で手をいっぱい伸ばし、リンゴ狩りデビューができました。雨が心配されましたが、お日様も子供たちの見方をしてくれました。子ども達の何とも言えない笑顔に今年も宿泊訓練が出来て本当に良かったという思いでした。ありがとうございました。

6. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動風景の写真を参考資料として提供してください。

参考資料あり ・ 特になし

ビリーブ: 地域で障害者が生活できることを信じて 2009. 11. 1 発行
東京都青梅市日向和田3丁目676番地 電話0428-21-7634 発行責任者 新井奈穂子

あゆみの家は、
青梅市に住んでいる重度身体障害児(者)を対象に
右の事業を実施しています。

- 重度身体障害児(者)の生活自立訓練
- 重度身体障害児(者)の宿泊訓練
- 重度身体障害児(者)の緊急一時保護

“皆さんありがとうございました”

今年も昨年と同様 Shinjo 市民活動助成金をいただき、又、チャリティー協会の助成を利用し一泊の湯沢の旅に出かけてきました。何しろ私達の会は、いろいろな方々にお世話になり、助けていただかなければ到底実行出来ません。相変わらず親子共々皆さんに甘えさせていただき、楽しい旅をして来ました。助けていただいた方々と Shinjo さんに心から感謝致します。

(新井奈穂子)



施設外宿泊訓練に行ってきました!!

10月6日～7日秋雨の降る中、昨年と同じ越後湯沢温泉の湯沢ニューオータニホテルの入浴と宿泊の体験訓練を中心とした一泊旅行です。

同じホテルに続けて泊まる事は、障害者に安心感を与え、落ち着いて過ごす事ができる事と、介護する側もホテル内の様子も分かって、計画を立てやすい利点もありました。

又、ホテル内も障害者対応が充実していることありますが、入浴訓練の際、男子を介護する側が

自分でもいだりんごをお土産に家路につきました。
子ども達、今回も色んな体験が出来て充実した宿泊体験になりました。

(尾根清美)



編集後記

我家の息子は旅行で一つ大きな悩みがあります。入浴の時にどうしても海パンなしでは入れないので。「思い切って!」と言うのですが「だったらお風呂はいいよ!」と言います。「せっかく温泉地に来てるのだから♂入ろうよ」と言って、今回は思い切った入浴でした。自分の事を一番理解してくれるお母さん達やパートさん・ボランティアさんに助けられながら、結局きもちいいお風呂となりました。

みんなは訓練で慣れて楽しく入浴しているなか我が子はどうしても抵抗があるようです。「お父さんもお母さんも若くはないのだから、これからどうするのよ?」と言いましたら、その時は覚悟するとの答え…わかってあげなければ仕方がないか～、なんか複雑な心境ですがまだまだ訓練が必要のようです。

(担当 新井奈穂子)

あゆみの家の生活訓練、宿泊訓練、緊急一時、レスパイト、などご利用をお待ちしております。